

臨床研究「中枢神経原発悪性リンパ腫の予後予測モデル指標の確立」 について

筑波大学附属病院血液内科では、中枢神経原発悪性リンパ腫と診断された患者様の診療情報（カルテ情報）を使用して標題の臨床研究を実施しております。この研究を実施することによる患者様への新たな負担は一切ありません。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

中枢神経原発悪性リンパ腫の、遺伝子変異や遺伝子発現のプロファイルおよび診断時の臨床パラメタ（年齢、日常生活における活動能力、脳内の腫瘍が存在する位置、など）が、患者さんの生存期間に与える影響を明らかにし、予後を予測する新しい指標を作成することを目的としております。

② 研究対象者

バイオサイエンスデータセンター(NBDC: National Bioscience Database Center)のデータベース上に掲載されている中枢神経原発悪性リンパ腫の患者さんの遺伝子情報に関するデータ (Research ID: hum0017.v1) 及び、対応する臨床情報。
筑波大学附属病院の通院患者からのデータの抽出はない。

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2021年12月19日まで

④ 研究の方法

NBDC ヒトデータベースにおいて公開されている中枢神経原発悪性リンパ腫の患者さん41人分の遺伝子に関するデータと臨床情報を基に、統計ソフトを用いた解析を行います。。具体的には、Rという統計ソフトを用いて機械学習関連のパッケージを利用した解析を行い、予後を層別化する遺伝子発現・遺伝子変異・臨床パラメタを確認することを主要評価項目としております。

⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

中枢神経原発悪性リンパ腫の患者さんの遺伝子データの情報は「FASTQ ファイル」というファイルに保存されます。患者さん41症例分のファイル及び、それらに対応した臨床パラメタに対して解析を行います。

⑥ 研究組織

筑波大学附属病院 血液内科診療グループ・教授 千葉 滋

国立がん研究センター研究所 細胞情報学分野 分野長（研究所長） 間野博行

杏林大学医学部脳神経外科学 教授 永根基雄

埼玉医科大学国際医療センター/包括的がんセンター 脳脊髄腫瘍科 教授 西川亮

東京大学医学部 脳神経外科 教授 齊藤延人 助教 田中將太

熊本大学大学院生命科学研究部 脳神経外科学 教授 武笠晃丈

国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 科長 成田善孝

国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野 分野長 市村幸一

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 血液内科診療グループ・教授 千葉 滋

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑧ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

血液内科 服部 圭一郎：

電話：029-853-3293（血液内科オフィス 平日 9:00～17:00）

FAX：029-853-8079